

ICT 活用教育概論

(1 単位)

専門 > 教育学部 > 基礎理解に関する科目等

1 年、2 年、3 年、4 年 前期

[数理・DS・AI 応用基礎力育成プログラム] 週間授業

小林 洵太 (kkobayas@u-fukui.ac.jp, 0776-27-8703(2475)、教育学部 3 号館 2 F、実務経験：学校等)

塚本 充 (tukamoto@f-edu.u-fukui.ac.jp, 0776-27-8798 (2509)、教育学部 3 号館 2 階、木曜 2 限時、実務経験：民間企業)

■ナンバリングコード

05-TTM-114 教育学部 学校教育課程 / 道徳, 総合学習, 生徒指導, 教育相談 [1 年次レベル]

■授業概要

■対面授業を想定したシラバスとなっているので、実際の受講時には「UNIPA クラスプロファイル」および「GoogleClassroom」の本授業の所定の回数の箇所を確認すること。

学校教育における ICT 活用の特徴や意義を理解するとともに、実際に ICT 活用を体験しながら学習指導の方法について学び、ICT を教育に活用する基礎的な知識・技能を身に付ける。

■到達目標

- ①教育（学習指導や校務を含む）に ICT を活用する意義とその在り方を理解する。
- ②ICT を活用した学習の基礎的な指導法を身に付け、効果的に活用した授業を計画することができる。
- ③情報活用能力（情報モラルを含む。）に関する理解を深め、それらの能力を児童・生徒に習得させるための基礎的な指導法を身に付ける。

■授業内容

- 第 1 回：ICT 活用教育の意義と教育 DX（塚本）
- 第 2 回：プログラミング教育の目的と意義（小林）
- 第 3 回：情報活用能力（情報モラルを含む。）の指導法（小林）
- 第 4 回：教科における ICT の活用方法の検討（小林）
- 第 5 回：特別支援学校における ICT 活用とデジタル教科書（小林）
- 第 6 回：デジタル教材の作成と活用方法の検討（小林）
- 第 7 回：教育におけるデータの活用（小林）
- 第 8 回：遠隔・オンライン教育の実際と課題（小林）

※状況により、授業内容が前後したり、一部変更することがあります。

■準備学習（予習・復習）等

【予習】取り扱う内容に関して、事前に調べておく。
 【復習】取り扱った内容を振り返り、課題に取り組む。
 ※各回で示された課題に対してレポートを提出する
 なお、毎回の予習・復習には、それぞれ 1 時間程度を要するものと思われる。

■授業形式

【授業形式】
 講義、演習

ICT 機器を使用した演習が入ります

■成績評価の方法

各回で提示する課題と学期末の最終レポートにより、総合的に判断して行う。

- ・各回における課題（70%）
- ・学期末の最終レポート（30%）

■教科書・参考書等

参考資料

- ・文部科学省「教育の情報化に関する手引き」
 - ・小学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示 文部科学省）
 - ・中学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示 文部科学省）
 - ・高等学校学習指導要領（平成 30 年 3 月告示 文部科学省）
- 上記以外の資料については、必要に応じて配布する。

■その他注意事項等

学内ネットワークに接続可能な PC もしくはタブレット端末等の ICT 機器の持参を求める場合があります。

■実務経験のある教員としての授業内容

ICT 機器の学校への導入、研修等を担当した知見を活かした授業

■キーワード

ICT 活用教育、アクティブラーニング、数理・データサイエンス

■アクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニングを一部導入した科目
 実際に ICT 機器を操作し、意見を共有・議論しながら授業を進める。

■授業形態

対面・オンライン併用授業ーオンデマンド（録画配信型）

■SDGs

4.質の高い教育をみんなに